

日本臨床化学会 北海道支部

# 第 320 回 臨床化学分析談話会

演題：梅毒の流行状況と検査について

講師：中岡 啓一

(極東製薬工業株式会社 営業学術部 カスタマーサクセス課)

要旨：梅毒の報告数は2010年ごろから増加傾向を示しており2023年は速報値で現在の集計方法が適応されて以降、最大の報告数となっています。梅毒は症状のみでは診断することが困難な場合もあり「偽装の達人」との異名があるほどです。梅毒抗体検査の適切な解釈と症状や臨床背景などを総合的に判断して診断する必要があります。今回は現在の流行状況、梅毒の基本的な知識や、自動化法による抗体検査、検査結果の解釈などについてお話をさせていただきます。

日 時: 2024年 6月 7日 (金) 18:30~19:30

場 所: オンライン開催

事前参加登録: 2024年5月31日 (金) 迄に専用フォームを使ってご登録をお願いします。下記の二次元バーコードよりスマートフォンからのご登録も可能です。URLを開く際はGoogle ChromeあるいはSafariを推奨します (<https://forms.gle/QR4388bf8taNRjvZ7>)。頂いた情報をもとに後日オンライン講演会場のURLをご案内いたします。今回の登録で頂戴した情報は本目的以外に使用しません。

参加費: 無料

共 催: 札幌臨床検査技師会 (日臨技生涯教育研修制度 一般教育研修課程 専門教科 20点)

幹 事: 伊藤 敦巳 (旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

事務局: 高橋 祐司 (北海道医療大学 医療技術学部 臨床検査学科)

